

8月9日から14日まで福島県でのボランティア活動を実施した。大熊町の帰還困難区域の中に「もーもーガーデン」(<https://www.facebook.com/friends.fumane>) というのがある。「大震災と原発事故を生き抜いた牛を生(活)かすことで、山林化・荒廃化しつつある土地を保全する取り組みを行っている非営利の一般社団法人」と。



写真1: もーもーガーデンの牛と一緒に

ここはボランティアの援助はあるが、谷さつきさんが一人でやっている帰還困難区域ではあるが申請をして許可をもらえば作業をすることはできる。帰還困難区域には入れないと思っていたので、当初これは意外だった。ただし、帰還困難区域内の生物も無生物も一切外に持ち出すことは禁止。現在11頭の牛を飼っているが、もちろんこれは出荷するためではなくて、単に死ぬまでをそこで過ごすだけである。ただ、牛の糞尿は肥料となり土地の土壌改良に役立っている。餌にもよるが、糞尿の放射線量は比較的低い。また、草をたべるので、土地が荒廃するのを防いでくれる。

除染により表土はキレイな土になっても、そこですぐに農業をすることは不可能である。養分の豊富な土地にすることが必要であり、ここではその役目を牛たちがやっている。

この空間放射線量は2年前には0.74 μ Sv/hあったが、最近では0.43 μ Sv/hで、主に自然減と思われる。今回の主な作業は、もーもーガーデンの草刈りや牛の餌となる作物の収穫など。また、将来へ向けて牧草を確保するため富岡町にある地区の整備など。

今年になりJR常磐線が全線で再開されたことにより、帰還困難区域の中にあつた途中駅にも行けるようになった。ただし、行く途中には行き止りがあつたりして車のナビも混乱していた。特定復興再生拠点区域として駅周

辺だけの立入りが許可されていた。

今回、1日だけ相双ボランティア(土日祭日のみ活動)の仲間の活動にも参加。午前中に富岡駅近くの民家の草刈り。家はすでに解体されて何もなくて草茫茫であった。



写真2: 草茫茫の民家跡

高齢の家主は秋田に在住とか。午後はたんぼの草刈り。セイタカアワダチソウが元気に繁茂してとにかく熱かった。

今回も駅「南相馬」で車中泊をした。ここがなければ、こんなに長くは南相馬へのボランティア活動は続かなかつたと言える。すぐ隣にコインランドリー、コンビニがあ



写真3: 道の駅南相馬と愛車

り、何と言っても無料Wifiが使えた。道路の向い側にはホテルがあり、有料だが入浴も可能だ。2kmぐらい離れたところに銭湯もある。何より、道の駅には同じようなボランティア仲間がいた。

(続く)